

東洋文庫



羽田博士史學論文集 下卷 言語・宗教篇

次巻中に収める論文の外、一七三の頁に「言語の點を附したる」の語句は、一七四の頁の語句を附せる。

一、言語の點を附したる語句は、一七四の頁の語句を附せる。本書の文字に存在すれど、此等の點は句讀に對して附せられたる。

二、本書に於いては Radlof 氏は、又字を用ひ、Nebel 氏は、又字を用ひ、

三、本書に於いては Radlof 氏は、Nebel 氏は、又字を用ひては、

四、本書に於いては Radlof 氏は、Nebel 氏は、又字を用ひては、

五、本書に於いては Radlof 氏は、Nebel 氏は、又字を用ひては、

六、本書に於いては Radlof 氏は、Nebel 氏は、又字を用ひては、

七、本書に於いては Radlof 氏は、Nebel 氏は、又字を用ひては、

八、本書に於いては Radlof 氏は、Nebel 氏は、又字を用ひては、

九、本書に於いては Radlof 氏は、Nebel 氏は、又字を用ひては、

十、本書に於いては Radlof 氏は、Nebel 氏は、又字を用ひては、